

令和3年度ワーキンググループ活動報告

ワーキンググループ 代表者	メンバー構成	内 容	開催日	令和3年度の活動の成果
南区相談支援連絡会 共同代表 丸山 京子 (ゆたか相談支援事業所どうとく) 外山 操 (相談支援事業所つくしみなみ)	指定特定相談支援事業所 福祉課障害福祉係 保健センター相談員 社会福祉協議会	・情報共有、交流 ・課題の共有 ・事例検討 ・研修会	4/8, 5/13 6/10, 7/29 9/2, 10/14 11/11, 12/9 1/13, 2/3, 3/10	・今年度も、ZOOMによる相談ワーキングを毎月行うことができた。 ・「精神障害の方の支援について」ディスカッションして、精神障害の方の関わり方のヒントを得た。 ・日本福祉大学の木全教授のスーパーバイズを2事例、受けることができた。「CSWの働き・重層的相談支援の動き・地域の社会資源を知ることが目的とした事例」「障害の重い方の生活を本人主体にするために」をテーマに社協と相談員が持ち寄った事例検討会を行った。 ・相談支援専門員のスキルアップの為に大学の講師を招いて「ケースメソッド技法」を使って、包括的支援の理解について学んだり、高次脳障害のある人へのコミュニケーション支援について、なごや高次脳機能障害支援センターの講師を招いて意思決定支援力を高めたりした。 ・昨年度に続き、コロナウイルスによる緊急事態宣言を災害ととらえ相談員のBCPについての意識付けや各相談員が持ち寄る地域課題について意見交換を行った。
福祉関係事業所連絡会 代表 今治 信一郎 (ライフサポートゆたか)	区内障害福祉関係事業所	・自立支援協議会 情報共有 ・事業所間交流 ・人財育成のための研修会 ・課題の検討	・10月28日 ・2月15日	・「精神障がい者の特性と対応の仕方」。講義と、事前アンケートを踏まえて、各事業所で対応方法を相談したい内容について、オンラインで質疑応答を実施した。 ・「名古屋市(南区)防災のしくみを学び、事業所の防災活動に役立てよう」。総務課からの報告、地区防災カルテから事業所における災害リスクを把握し対策を考える、事業所のグループ討論を行った。
要配慮者の防災を考える会 代表 濱田 智恵実 (南区手をつなぐ育成会)	南区手をつなぐ育成会 みなみ家族会 福祉関係事業所 身体・知的障害者相談員 総務課防災主査 福祉課障害福祉係 社会福祉協議会 星崎消防団長 みなみ災害ボランティア 地域住民など	・災害時の各障害における困り事や必要な支援について知る ・防災訓練等への参加を促し、地域の方に障害児者のことを理解してもらう機会とする。 ・地域と顔の見える関係を築く	4/20 6/15 7/29 9/1 10/14 11/11 12/9 1/13 2/15 3/15	*地域の防災訓練等は中止 ○防災訓練「要配慮者講習」に代わる活動について協議を続けた ・学区を回り、要配慮者への対応についてのニーズを聞く ・要配慮者の防災を考える会を知ってもらい、要配慮者のことを考えるきっかけづくりを行う。 ○学区への活動 ・学区防災訓練打ち合わせ(宝学区) *訓練は中止 ・R4年度 水防訓練打ち合わせ(笠寺学区)
児童の生活を考える会 代表 佐藤 明裕 (南部地域療育センターそよ風)	障害児通所支援事業所 南養護学校分校 港特別支援学校 南区特別支援教育研究会 南区手をつなぐ育成会 南歯科医療センターCW 保健師 学童保育 その他児童の支援機関	・障害児をめぐる環境の現状確認やその課題を検討する ・福祉関係機関と教育関係機関との意見交換、交流を行い、子どもたちの生活について総合的に考える場とする。	全体会 6/17, 12/14, 2/21 幹事会 4/30, 6/17, 10/12 みなみっこフェス 7/21~7/24	・全体会前に幹事会を行い、WGの内容や運営について検討し進めてきた。 ・感染拡大中での支援継続の難しさを抱えながら、環境等工夫して支援を進めている状況を共有し合ってきた。 ・感染状況を鑑みzoomでのWG開催を行ってきたが、感染者数が減少していた時期には対面+zoomで開催した。対面で話をする良さを感じられる会となった。保護者支援についての意見交換を行った。 ・みなみっこフェスは、企業の体育館をお借りしあそび場の提供を行った。感染予防の観点から、事業所同士が交わることや多人数が集まることをなるべく避けるため、開催期間を長く設定し、時間で区切ってあそぶなど開催方法を工夫した。10事業所が参加した。 ・継続して行っているプレゼント交換は今年度も実施した。20事業所の参加があった。事業所間の交流は控え、プレゼントらしさを出すため各事業所には郵送で届けた。
地域福祉力を伸ばそう 代表 岡部祥明 (地域活動支援センタークオーレ)	精神障害者地域活動支援センタークオーレ 保健センター相談員 社会福祉協議会 子ども応援委員会 みなみ家族会	・地域に向けた心の健康の啓発活動 ・講演会等を通じた「福祉」「障害」についての学習の場の提供 ・支援者だけではなく地域住人にも障害がある方たちの『応援団員』になってもらう	4/21 5/25 6/11 7/16 10/08 10/29 11/6 11/26	・令和元年度に対面で実施した、中学生むけ「こころの健康ピアサポーター養成講座」を、オンラインで開催した(11月6日) ・開催までに、中京大学教授 川島教授ならびにゼミの大学生・大学院生、子ども応援委員会と、定期的にオンラインで会議を持ち、オンライン開催のための検討を重ねた。 ・地域の社会資源とのつながりを意識し、講座当日、「いのちの電話相談」「南児童館」「子ども家庭支援センターさくら」にオンラインで参加してもらい、「子ども応援委員会」「保健センター」とともに、中学生の相談先として、具体的に話をしてもらった。 ・開催前と後に、南区の全中学校を訪問し、説明と経過報告を行った。
地域生活支援拠点の面的整備の会 共同代表 水島 貴三 (相談支援事業所しらべ) 土方 雅幸 (サポートセンターベル)	拠点事業所 指定特定相談 福祉課障害福祉係 単独型ショートステイ事業所 日中活動事業所	以下の機能の実現の検討 ①緊急対応の機能 ②地域生活体験の機会の機能 ③相談の機能 ④専門的人材の確保・養成の機能 ⑤地域の体制づくりの機能	4/16 5/21 6/18 7/16 9/17 11/19 1/21 2/18 3/18	・オンライン会議を定期的実施 ・お助けショートステイ登録検討時に、個別ケースごとで想定される緊急時の対応を検討できた。利用時の課題の集約を同時に行った。 ・お試しグループホームの進捗状況を開催ごとに確認できた。 ・南区手をつなぐ育成会例会において、説明会を実施し、地域生活拠点事業についての周知・意見収集をおこなった。

令和4年度ワーキンググループ活動予定

令和4年5月11日現在

ワーキンググループ 代表者	メンバー構成	内 容 (令和元年度から継続)	頻度	令和4年度の活動予定 (下線部が昨年度からの変更点や新たな取り組み。一部実施済のものも含む)
南区相談支援連絡会 共同代表 外山 操 (相談支援事業所つくしみなみ) 前橋 裕子 (障害児相談支援事業所そよ風)	指定特定相談支援事業所 福祉課障害福祉係 保健センター相談員 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> 情報共有、交流 課題の共有 事例検討 研修会 	毎月	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援専門員のスキルアップのための研修は継続予定。(日本福祉大学宇佐美先生) スーパーバイザーを招いての事例検討会も継続予定。(日本福祉大学木全先生) コロナウイルスによる緊急事態宣言を災害ととらえ、相談員のBCPについて、意見交換を継続予定。 精神障害に関して新たに講師を招く予定。(愛知淑徳大学瀧先生) 意思決定支援に関して新たに講師を招く予定。(当事者で検討中) 地域づくりネットワークづくりなど地域課題に意識がもてるようにしていく予定。
福祉関係事業所連絡会 代表 今治 信一郎 (ライフサポートゆたか)	区内障害福祉関係事業所	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会 情報共有 事業所間交流 人財育成のための研修会 課題の検討 	年3回	<ul style="list-style-type: none"> 「虐待防止に関する研修」「強度行動障害に関する研修」「防災に関する研修」を予定。 研修とともに、事業所間で情報交換・交流も大切にしていく。
要配慮者の防災を考える会 代表 濱田 智恵実 (南区手をつなぐ育成会)	南区手をつなぐ育成会 みなみ家族会 福祉関係事業所 身体・知的障害者相談員 総務課防災主査 福祉課障害福祉係 社会福祉協議会 星崎消防団長 みなみ災害ボランティア 地域住民など	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の各障害における困り事や必要な支援について知る 防災訓練等への参加を促し、地域の方に障害児者のことを理解してもらう機会とする。 地域と顔の見える関係を築く 	毎月第3火曜日	<ul style="list-style-type: none"> ○避難訓練にて「要配慮者講習」 5/29 水防訓練 9/4 総ぐるみ訓練 ○避難所体験訓練 2/11 *訓練は感染状況により検討 ○学区に訪問し、<u>要配慮者のことを考えるきっかけを作っていく</u> ・学区の集まりに参加し、要配慮者について冊子(こんなときどうする)を使い説明(特に障害分野)
児童の生活を考える会 代表 佐藤 明裕 (南部地域療育センターそよ風)	障害児通所支援事業所 南養護学校分校 港特別支援学校 南区特別支援教育研究会 南区手をつなぐ育成会 南歯科医療センターCW 保健師 学童保育 その他児童の支援機関	<ul style="list-style-type: none"> 障害児をめぐる環境の現状確認やその課題を検討する 福祉関係機関と教育関係機関との意見交換、交流を行い、子どもたちの生活について総合的に考える場とする。 WGメンバーから声が上がっていた、性についての学習会を、講師を招いて実施する。 	連続講座(3回) 十全体会(2回程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・当初R3年度に計画していた学習会を実施する。日本福祉大学の伊藤修毅先生をお招きし、『子どもたちの“性”の育ち』というタイトルで3回連続講座を行う。 ・みなみっこフェスは今年度の実施予定。夏場の体育館は暑さが厳しいという声もあったため、開催時期、場所については未定。幹事会を中心に今後検討していく。 ・プレゼント交換は今年度も実施予定。長らく冬場に取り組んでいたため、新たなアイデアを活かしていくため別の時期が良いのではないかという声も上がっているため、開催時期については幹事会を中心に検討していく。 ・幹事会を拡大し新たに1~2事業所を迎え入れていく。代表、幹事3~4事業所、事務局で幹事会を開催しWGを運営していく。
地域生活支援拠点の面的整備の会 共同代表 水島 貴三 (相談支援事業所しらべ) 土方 雅幸 (サポートセンターベル)	拠点事業所 指定特定相談 福祉課障害福祉係 単独型ショートステイ事業所 日中活動事業所	以下の機能の実現の検討 ①緊急対応の機能 ②地域生活体験の機会の機能 ③相談の機能 ④専門的人材の確保・養成の機能 ⑤地域の体制づくりの機能	毎月第三金曜日予定	<ul style="list-style-type: none"> ・お助けショート事前登録時における面的整備の会議開催継続。 ・相談WG、精神障害者家族会への拠点事業説明会。 ・潜在的なニーズの掘り起こしのため、地域生活拠点事業の周知相談員向け案内資料の作成、配布。 ・特定相談事業所、相談WGとの連携活動。 ・お助けショートステイ登録者のモニタリング(その後の状況把握)